

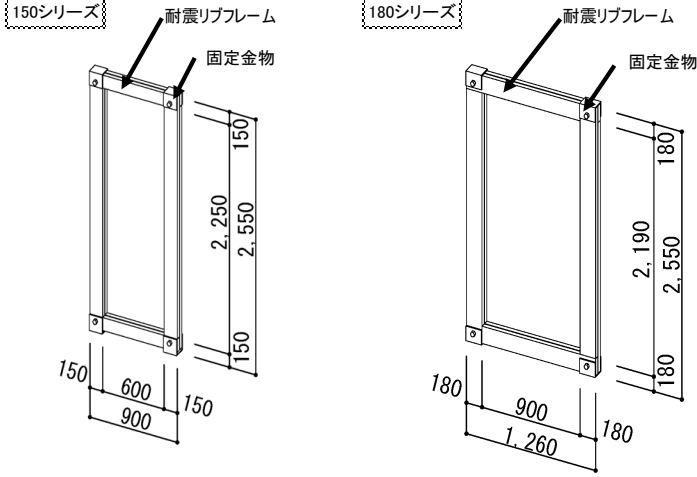
# 耐震リブフレーム特記仕様書

## §1 概要

### 1-1 構法概要

耐震リブフレームは、2枚の板材の端部にL型の鋼板をはさんで釘打ち一体化した剛節フレームである。

### 1-2 耐震リブフレーム

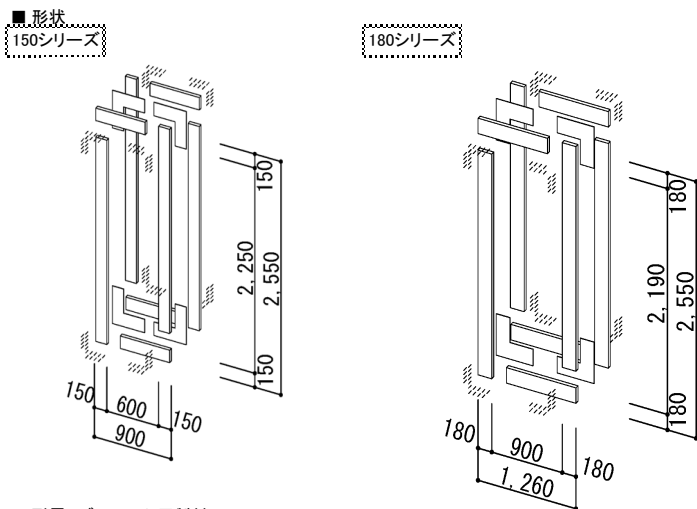


■ フレーム寸法表 (内法寸法を示す)

タイプ	内法巾	内法高さ	厚さ
150シリーズ	600mm	2,250mm	72mm
180シリーズ	900mm	2,190mm	72mm

## §2 材料

### 2-1 耐震リブフレームの製作



■ 耐震リブフレーム用製材

タイプ	寸法
150シリーズ	2-36 × 150
180シリーズ	2-36 × 180

規格	JASおよび同等品
樹種	スギ(国産材)
等級	E70相当(JAS)または、曲げ強度試験を実施する場合は曲げ基準強度が25N/mm <sup>2</sup> 以上のもの
含水率	20%以下

■ 仕口接合プレート

規格	鋼材種	板厚	記号
JIS SS400相当	ZAM鋼板	3.2mm	150用:A2 180用:A3

■ 仕口接合釘

タイプ	仕様	1コーナーあたりの本数
150シリーズ	2.5φ, L=50mm(CMP25-50 MURATEC同等)	100本以上
180シリーズ		120本以上

■ 中間連結ねじ

木ねじ	仕様	本数
	SUS 4.6φ, L=50mm	16本

(仕口ダンパー専用ねじ)

## §2 接合部

### 2-1 固定金物

■ 固定金物

規格	鋼材種	板厚	形状(曲げ加工)
JIS SS400相当	ZAM鋼板	4.5mm	コ型-85×175×150

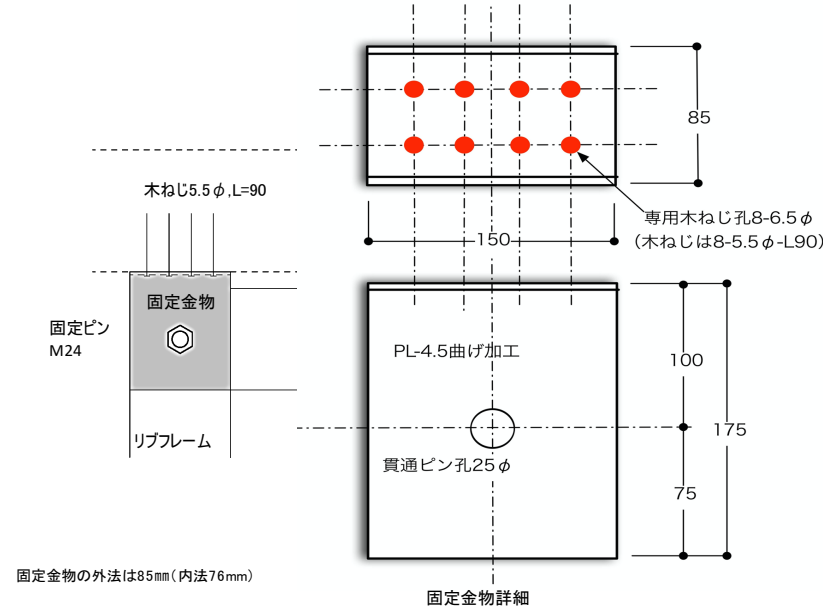
■ 木材への固定金物取り付け

木ねじ	仕様	表面処理
	5.5φ, L=90mm, 8本/1金物	ディスゴ処理 (j.Podねじ)

■ 固定金物とリブフレームの接合

固定ピン	規格	仕上げボルト	スプリングワッシャー付き
	JIS I-M24	F8.8 長さ115mm	

※(黒皮状態) さび止め: ローバルR吹付け塗装(オプション)  
 ※固定ピン(貫通ボルト)のナット締め付けはボルト尻が2山以上出て、緩みのない程度とする。



### 2-2 継手金物

■ 継手金物(オプション)

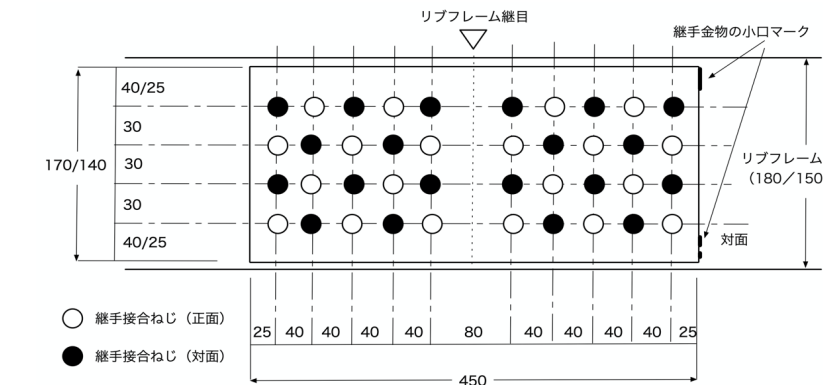
規格	鋼材種	板厚	形状(平板)	適用	記号
JIS SS400相当	ZAM鋼板	3.2mm	140×450	150シリーズ	B4
			170×450	180シリーズ	B5

※継手を柱に設ける場合、梁継手と同じ金物を使用する(ダブルフレームでも同様)。  
 ※内法幅600または900のリブフレームにおいては、その幅を縮めることができない。

■ 継手接合

木ねじ	仕様	備考
	SUS 4.6φ, L=50mm, 80本/1フレーム	仕口ダンパー専用ねじ

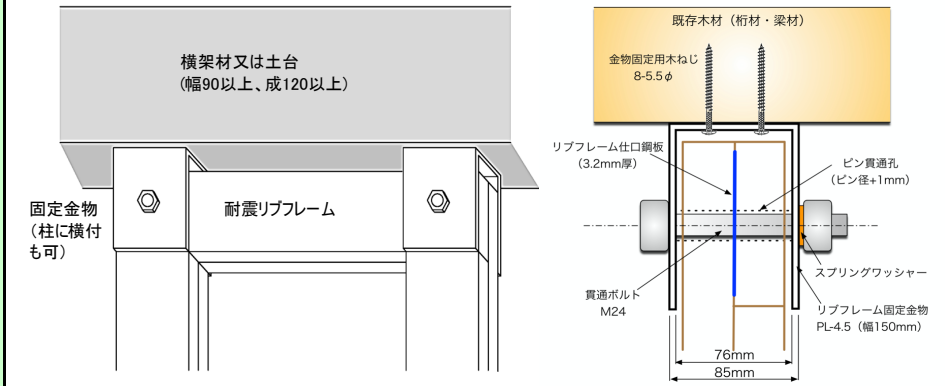
(ダブルフレームの場合、木ねじは5.5φ, L=90mm-ディスゴ処理-を用いる)



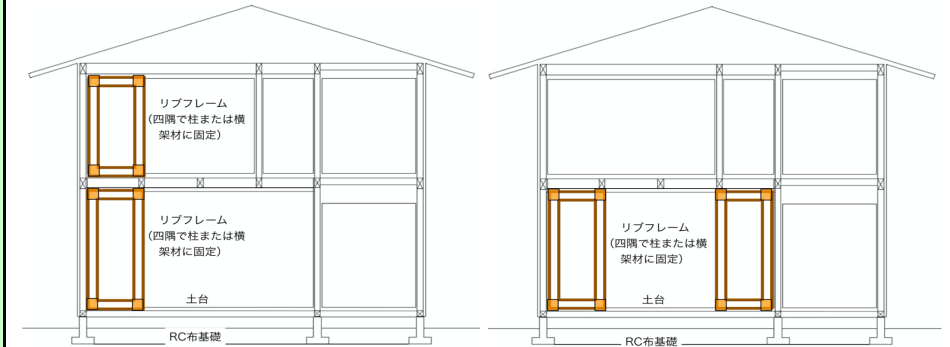
(注) 継手金物は2枚一セットで用いるが、リブフレームの表面に接するのには必ず金物の裏面であり、表面から見るとネジ穴が交互配置となっている。それは施工時において各面から打つビスが先端部で干渉し合わないようにならしているためである。そのため、施工現場で間違わないように継手金物の小口面にマーキングしている。

### 3-1 耐震リブフレームの固定

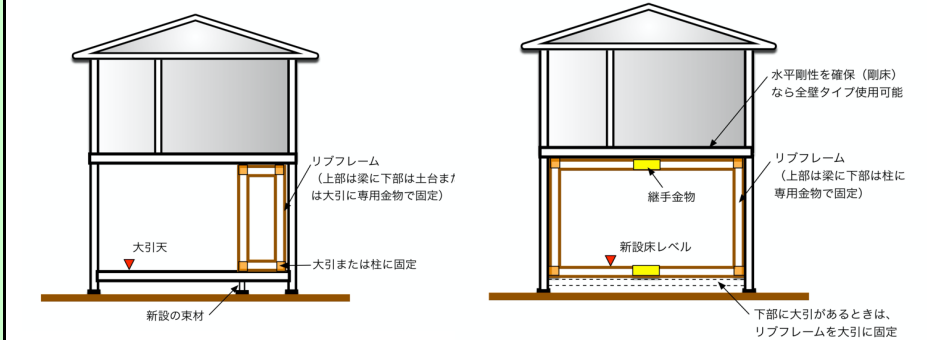
横架材や土台に設置し、木ねじ(5.5φ, L=90)8本で結合する。木ねじは長いビットを用いて留める。



### 3-2 耐震リブフレームによる補強



### 在来木造軸組構法の場合



(注) リブフレームは4隅(コーナー部)が必ず既存構造体の柱または梁に固定金物にて緊結されていること

### (その他) 木材の防腐・防蟻処理

■ 木材の防腐・防蟻処理(オプション)

部位	措置方法・区分	規格
リブフレーム 床下部	梁材(下弦): 乾式加圧注入処理K3同等	JIS A 9002同等

※一部刷毛塗り